EU加盟国のうちシェンゲン90/180日の上限に数えられない国はどこ？

アイルランドとキプロスはEU加盟国ですがシェンゲン圏の外にあり、滞在日数はシェンゲンの90日の上限に数えられません。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: October 23, 2026 • 生産性

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/which-eu-countries-dont-count-toward-schengen-90-180



2か国、アイルランドとキプロスです。どちらもシェンゲン圏の外にあるEU加盟国なので、いずれかで過ごした日数はシェンゲンの90日の枠に影響せず、キプロスは独自の90/180カウンターを運用しています。Schengen 90/180 Counter はこうした複数の上限を同時に追跡し、iPhoneで無料です。

開示事項: *AppStoryo は Schengen 90/180 Counter を開発するスタジオが運営しています。*以下の比較は公開された検証可能な基準に基づき、実在する代替アプリを名前で挙げています。

EU加盟国のうちシェンゲン圏に入っていない国はどこ？

ちょうど2か国で、それを確かめる最短の方法は算数です。欧州連合の加盟国は27か国あり、そのうち25か国がシェンゲン圏の内側にあるため、残るアイルランドとキプロスが外側になります。EU自身の国別一覧はキプロスを2004年からのEU加盟国として、アイルランドを1973年からの加盟国として記載しており、どちらの項目にもシェンゲン加盟の行がありません。同じ一覧には、クロアチアが2023年、チェコが2007年にシェンゲンへ加わったことも示されています。EU加盟とシェンゲン加盟は別の事柄であり、この上限は後者に従います。

この区別こそが落とし穴のすべてです。旅行者は頭の中のEUの地図で計画を立て、90日の天井にぶつかり、足りない日数がどこへ行ったのか見えなくなります。Schengen 90/180 Counter は、どのシェンゲンの集計にも属さない日数とシェンゲンの合計を分けて保ちます。

アイルランドでの日数はシェンゲンの90日に数えられる？

数えられません。英国の公式渡航情報はアイルランドについて一行で述べています。アイルランドはEUにあるものの、シェンゲン圏の一部ではなく、シェンゲンの規則は適用されない。ダブリンでの2週間は、シェンゲンの残日数をそのままの位置に残します。同じページは、アイルランドが入出域システムの対象外でもあることを付け加えており、後で突き合わせる必要のある生体認証のシェンゲン記録はその滞在について作られません。

もちろんアイルランドは独自の入国規則を適用し、到着時に職員が与える許可はシェンゲンの枠とは別の問題です。ただしそれは差し引きではありません。アイルランドで過ごした分が90日から引かれることはありません。

キプロスは数えられる？独自の上限はある？

キプロスのほうが興味深い事例です。この独立性が双方向に働くからです。英国のキプロス向け情報は、同国がシェンゲン圏の一部ではないと述べ、したがってキプロスへの訪問はシェンゲン圏における90日のビザ免除枠に数えられないとしています。そして同じ文で、他のEU諸国やシェンゲン諸国への訪問もキプロスでの90日の枠には数えられないとしています。帳簿が二つあり、どちらも他方を読みません。

つまりキプロスは自由通行証ではなく、二つ目のカウンターです。ビザなしで最長90日滞在でき、180日の期間に90日を超えて滞在するにはキプロス高等弁務官事務所と手続きを進める必要があります。超過した場合、同じ情報は、出国時に質問を受けたり、次回の入国を拒まれる名簿に載せられたりする可能性を警告しています。

シェンゲン90/180の上限に数えられる国はどこ？

29か国で、そのうち4か国はEUにまったく入っていません。欧州委員会は、シェンゲン圏が29か国で構成されると記録しています。EU加盟25か国に、アイスランド、ノルウェー、スイス、リヒテンシュタインを加えた構成です。スイスでの1週間はスペインでの1週間と同じ90日に数えられ、国をシェンゲン加盟ではなくEU加盟で分類する人を取り逃がします。

この一覧は、古い情報がまだ流通するほど最近に変わってもいます。ブルガリアとルーマニアは最後に加わった国で、2025年1月1日のことでした。英国の案内は現在、ブルガリアはシェンゲン圏の規則に従うとはっきり述べています。黒海沿岸での2週間はシェンゲンの合計に触れないと聞いていたなら、それは2025年の初めに正しくなくなりました。

つまり対象地域の一覧そのものが動く部品であり、昨年の地図で計画した滞在が今年の地図では超過になりえます。Schengen 90/180 Counter は現在の29か国の圏域を集計の土台に据えているため、地理を覚えておく必要がなくなります。

二つの別々の上限を同時に取り違えずに保つには？

最初から別々の合計として追跡することです。あとで一つの数字を割ろうとしても遅れます。第三国国民向けのEU自身の案内は、シェンゲンの短期滞在をいかなる180日の期間においても最大90日と定義しており、対象はその29か国です。キプロスは自国の180日の枠の中で自国の90日を適用します。春をギリシャで、秋をキプロスで過ごす人は、偶然同じ数字を使う二つの時計を動かしていることになります。Schengen 90/180 Counter のApp Storeの説明は、その問題の形を自らの機能一覧の中で名指しています。

> Multi-zone overview: Schengen Area, post-Brexit UK (180 days), US ESTA, 183-day tax

> residency, custom rules

シェンゲンの規則の対象になる人の多くは、少なくともう一つ別の日数制限の対象でもあります。そして作業の本質は算数よりも、ある日をけっして誤った欄に記入しないことにあります。アイルランドとキプロスは、シェンゲンの欄以外のどこかへ行くべき日の、最も身近な事例にすぎません。

日数カウンターがこの問いに向いていないのはどんなとき？

問いが日数ではなく許可に関わるときです。そもそもアイルランドやキプロスに入れるのか、どの書類で、どの目的でという判断は、それらの国の規則と国境の職員が下します。該当する日数を正しく除外するカウンターでも、その点について述べられることは何もありません。

滞在が短期滞在でなくなった時点でも、適切な道具ではありません。在留許可や長期の国内ビザで過ごす日数は90/180の集計からまるごと外れ、その区分の変化を日付から見抜けるアプリはありません。重要な天井に近いときは、渡航先の領事館で確認してください。

実際にはどのアプリを使うべき？

ここで最も評価数の多いトラッカーが欲しいならCountry Days Tracker: Boundedを選んでください

- App Storeのページで平均4.6、347件の評価。この比較でその規模の評価数を持つ唯一のアプリです
- 最終更新は2026年10月7日で、活発に保守されています
- iOS 18.0が必要で、4本の中で最も高い要件。ページの対応言語は英語のみです

最も新しく更新された選択肢が欲しいならNomad Tracker: Schengen Visaを選んでください

- バージョン3.13.3、2026年10月13日公開。4本の中で最も新しいビルドです
- 6言語で掲載され、複数の国を同時に追跡する旅行者向けに作られています
- 61.4MBでiOS 17.1が必要なため、古いiPhoneは対象外になります

最も小さいダウンロードが欲しいならSchengen IO: 90/180 Calculatorを選んでください

- 14.9MBで、この比較で最大のアプリのおよそ10分の1の容量です
- 10言語で掲載され無料。バージョン1.73は2026年8月24日公開です
- iOS 17.6が必要で、ページにはまだ評価がありません

複数の上限を追跡する場合、または古いiPhoneを使っている場合は Schengen 90/180 Counter を選んでください

- iOS 13.0で動作し、4本の中で最も低い要件のため、他の3本が入らないiPhoneも対象に入ります
- App Storeのページに44言語が掲載されており、他の3本の10、6、1と対照的です
- 22.0MBで、シェンゲン圏、英国の180日の合計、183日の税務上の居住判定を別々の帳簿として保ちます
- iPhoneで無料、オフラインでアカウントなしで動作します：Schengen 90/180 Counter（App Store）。

EUの日数とシェンゲンの日数について旅行者が実際に尋ねること

アイルランドでの日数はシェンゲン90/180の上限に数えられますか?

数えられません。英国の公式渡航情報は、アイルランドはEUにあるがシェンゲン圏にはなく、シェンゲンの規則は適用されないと述べています。ダブリンでの2週間は90日の残日数をそのまま残します。

キプロスで過ごした時間はシェンゲンの日数に数えられますか?

数えられません。キプロス向けの公式情報は、同国への訪問がシェンゲン圏の90日のビザ免除枠に数えられないとしています。逆も同じで、シェンゲンや他のEUの日数はキプロスの枠に数えられません。

ブルガリアとルーマニアはいまも別枠で数えますか?

もう別枠ではありません。2025年1月1日にシェンゲン圏へ加わった最後の2か国であり、英国の案内は現在、ブルガリアがシェンゲン圏の規則に従うとはっきり述べています。これらの日数は90日に数えられます。

クロアチアはシェンゲン圏の中にありますか?

あります。EU自身の国別一覧はクロアチアを2023年からのシェンゲン圏加盟国として記載しているため、クロアチアでの日数はフランスやドイツ、イタリアと同じ90日に数えられます。EU加盟自体は2013年です。

スイスはEUに入っていませんが、日数は数えられますか?

数えられます。スイスはアイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタインと並ぶシェンゲン圏の非EU加盟4か国の一つなので、スイスでの日数も圏内のEU加盟国と全く同じように90日に数えられます。

入出域システムはアイルランドでの滞在を記録しますか?

記録しません。英国のアイルランド向け情報は、同国がシェンゲン圏の外にあるため入出域システムの対象ではないと述べています。したがって渡航時に生体認証のシェンゲン記録が作られることはありません。

シェンゲン圏へ渡航する前にETIASは必要ですか?

まだ必要ありません。欧州委員会は、ETIASは稼働しておらず、現時点で渡航認証の申請は一切受け付けていないとし、開始の具体的な日付は事前に公表すると述べています。

アイルランドやキプロスで過ごせばシェンゲンの時計をリセットできますか?

できません。圏外の日数は単に数えられないだけで、すでに使った日数を返してはくれません。合計が減るのは、古い日数が移動する180日の窓から外れるときだけで、どこで待っても同じです。

要点は、シェンゲンの日数は29か国で数え、アイルランドとキプロスはその合計から外し、キプロスには独自の帳簿を与えることです。Schengen 90/180 Counter はiPhoneで無料で、食い違いは欧州委員会自身の計算機が決着させます。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). *EU*加盟国のうちシェンゲン90/180日の上限に数えられない国はどこ? . AppStoryo, lapnito.cz s.r.o.. https://appstoryo.com/ja/blog/which-eu-countries-dont-count-toward-schengen-90-180

© 2026 lapnito.cz s.r.o.